

*取り付け前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

*この補足説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの補足説明書も併せてお渡し下さい。

GIVI E135(LED) ストップランプ追加キット・12ボルト車専用	適応車種	商品No.
	V47 シリーズ	93943

この度はデイトナ「ストップランプ追加キット」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ず補足説明書および英語の説明書をよくご覧下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。なお、万一お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

≫ 組み付けおよび商品内容は英語の取説をご参照下さい ≪

(この取説は英語の取説を補完するものです。)

- ・ 組み付け作業には専門知識と技術が必要です(ドリルによる穴あけ加工、テスタによる導通チェック、精密工具による作業など)。信頼できる販売店にご依頼下さい。
- ・ 製造ロットによって細部が異なる場合があります。
- ・ 作業が完全に終わるまでエンジン始動、走行は行わないで下さい。

注意

配線は確実につないでください。各工程毎にテスタでチェックするとよいでしょう。

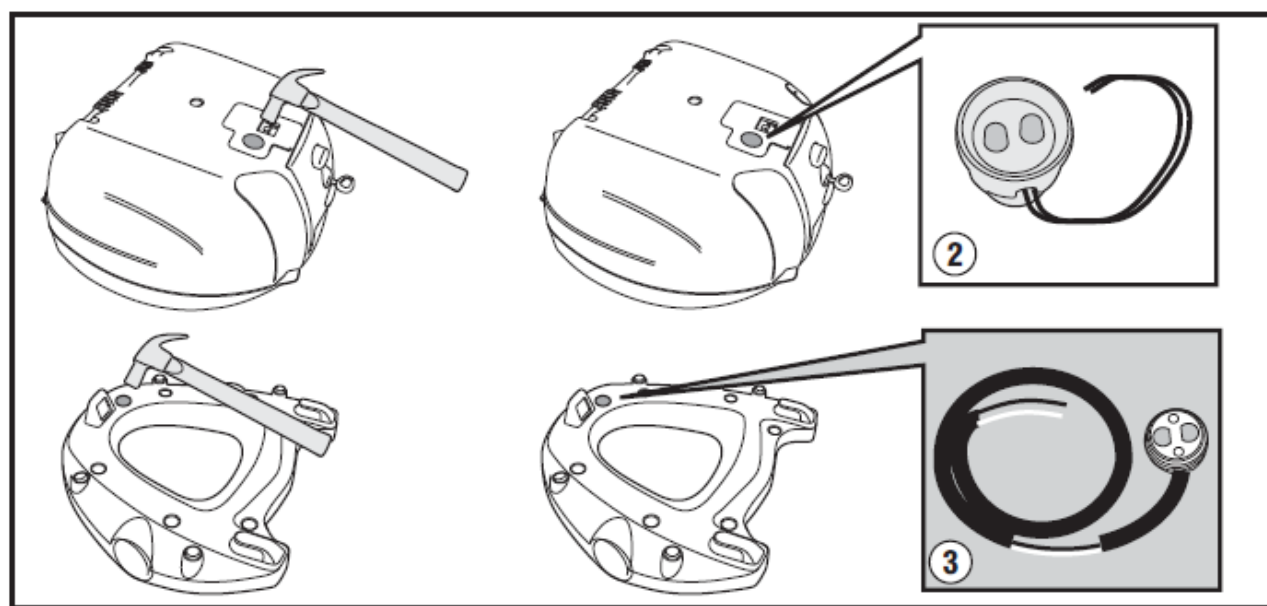
LEDには極性があります。極性を間違えると点灯しません。

お願い

- ・ 塗装やメッキなどの表面処理に関するクレームは受け付けておりません。予めご了承下さい。
- ・ 内装の袋は焼却してもダイオキシンの発生がないポリエチレンを使用していますが、廃棄の際はかならず地域の条例に従って処分していただくようお願いします。

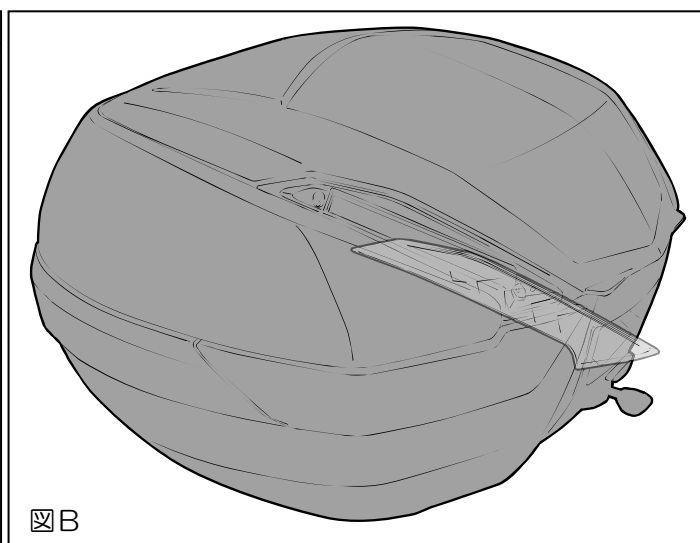
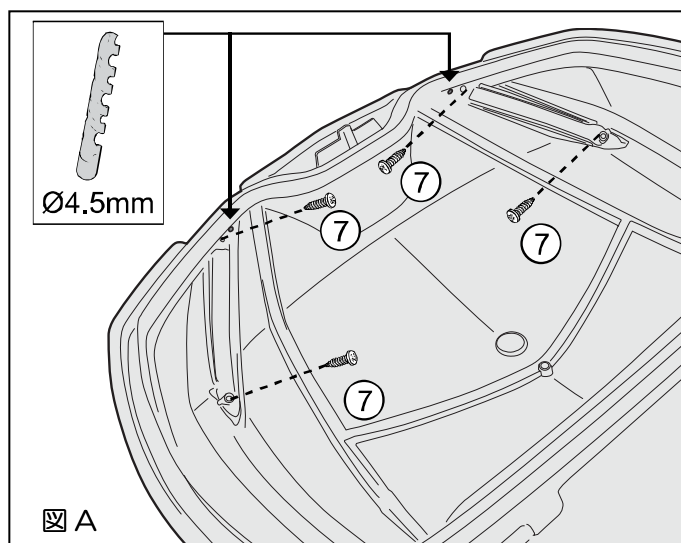
予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。

※ 上記の警告や注意、要点ならびにお願いなどを無視して発生したいかなる不具合に対しても株式会社デイトナおよびGIVI Asia (マレーシア法人) 社ならびにイタリアGIVI社は一切の責任を負いません。

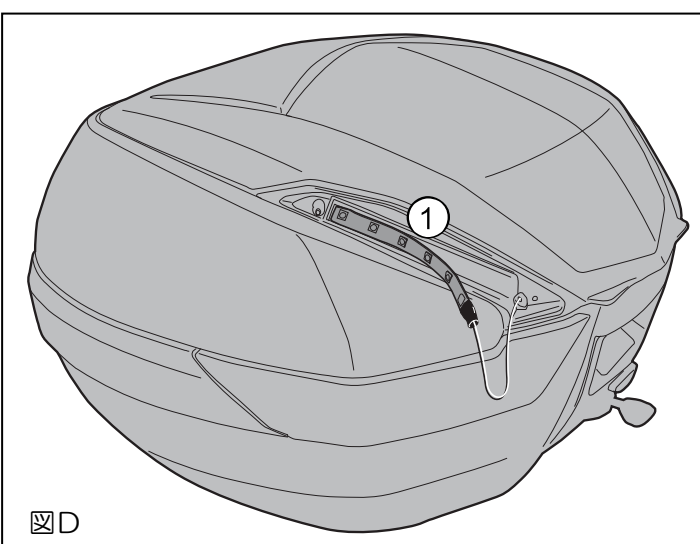
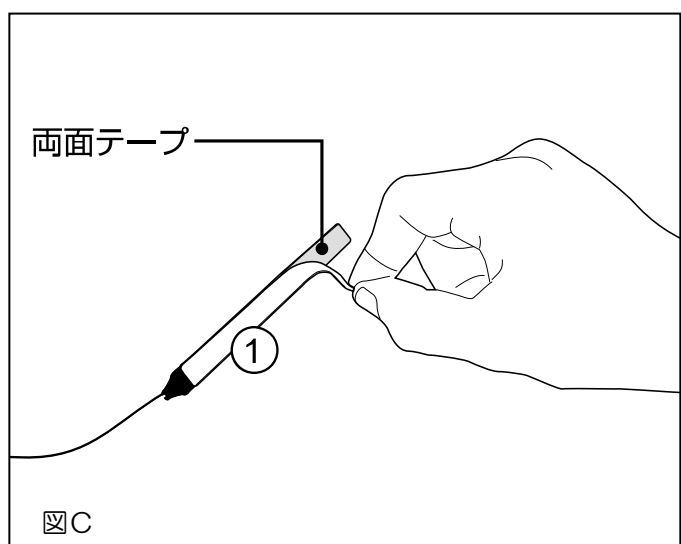


ポンチなどで接点部(マークあり)を打ち抜き、外側から接点を差し込む。
手のひらなどで確実に押し込んでください。

1. ⑦タッピングスクリー4ヶ所を外し、トップシエルからレンズを取り外します。※図 A/B
2. トップシエル内側にあるポンチマーク部にΦ4.5 で穴あけを行います。※図 A



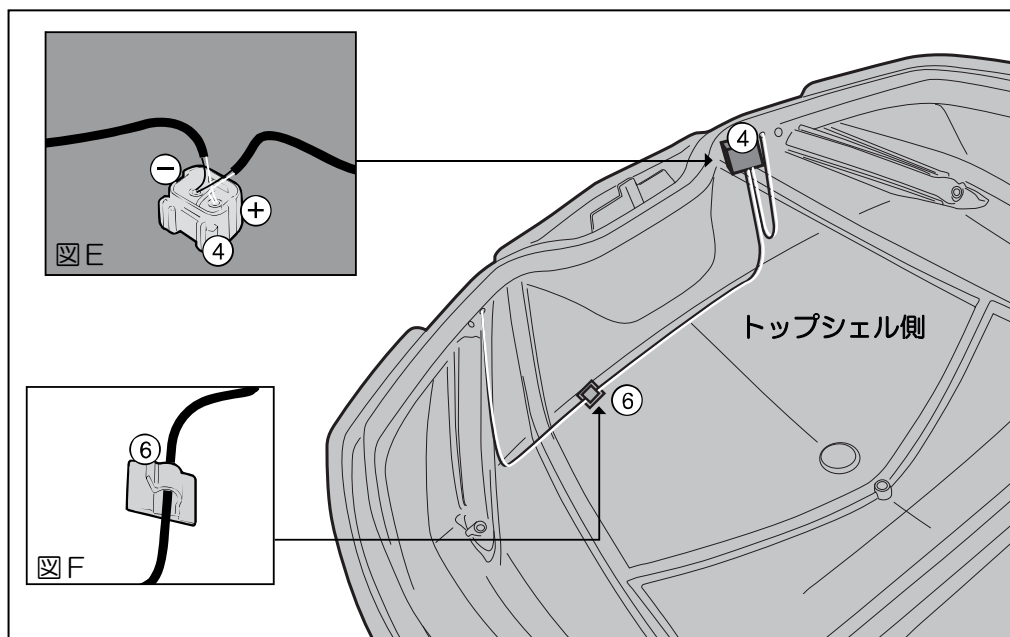
3. ①LED 基盤裏側の両面テープを使い BOX に貼り付け、手順 2 で穴あけした穴に配線を通します。
※図 C/D



4. LED 基盤配線の先端をトップシェル接点に接続します。(配線の先端に曲げグセをつけてから端子穴に差し込みます。(使用工具は 1.5mm のヘキサゴンレンチです。)) トップシェルの穴に配線を通しておくのを忘れなく。

※図 E 参照

5. 接点に配線を接続してから接点を図 E を参考にシェルに取り付け、⑥で配線を固定します。※図 F 参照

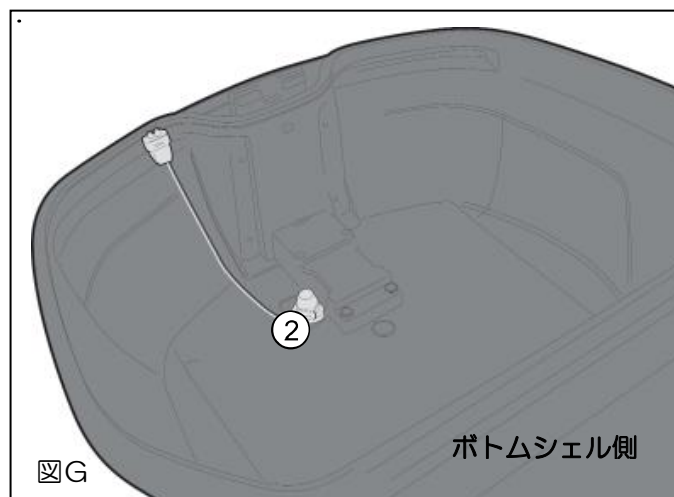


6. ボトムシェル側に外側から配線を通し、②接点をはめ込みます。※図 G 参照

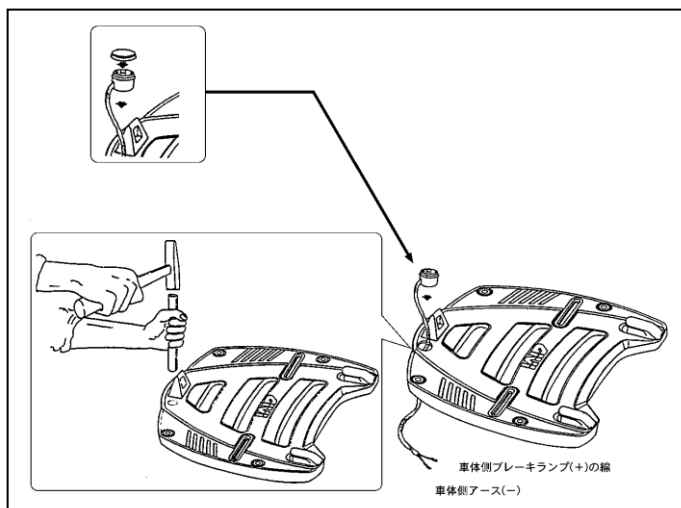
注意

トップシェルとボトムシェルの各接点がシェルを閉じた時に確実に接触することを確認してください。

※配線および各接点をエポキシ接着剤かホットボンドなどの手段で固定するとよいでしょう。



M3、M35、MMM35、MM ベースへの接点取付



ベース側接点の配線を車体に接続します。

ポンチなどを用いてベースの所定の位置を打ち抜きます。

(ウラ側に○マーキングあり)

打ち抜き後、バリ取りしてください。

車種によって或いは配線の取り回し方法によっては、配線の長さが足りない場合があります。その場合は 0.5 スクエア以上の配線をご用意いただき、延長してください。

ブレーキランプの配線色は、各車で異なります。

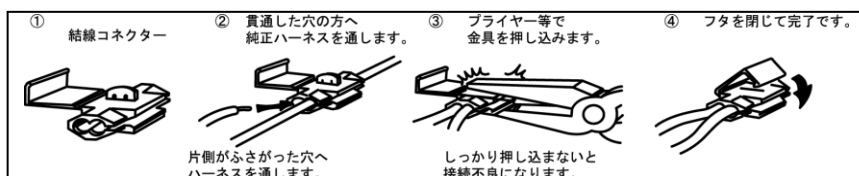
サービスマニュアルの配線図をご参照の上、必ずサーキットテスタを用いてご確認ください。

アース(マイナス)側はボディアースせず、ブレーキランプのマイナス

配線に接続してください。ボディアースでは確実性に欠け、ランプの正常な点灯を妨げる恐れがあります。

結線コネクタの使い方

※被覆は剥かずに使用します。



要 点

- ・LED (発光ダイオード) には極性があります。点灯しない場合はボトムシェルの接点部で配線を入れ替えてください。点灯を確認してから、ボトム接点キャップを閉め、配線を溝におしこみます。適直接着するとよいでしょう。
※製造ロットによって配線の色が異なる場合があります。
- ・走行時はケース装着の有無にかかわらずベースの接点カバーを外してください。

⚠ 警告

確実に配線しないとショートが原因で火災が発生し同乗者をふくむ運転者や第三者が死亡する場合があります。

⚠ 注意

乗車前に必ず一旦ケースを外して接点部の汚れや水分を除去してください。

濡れたり汚れたままご使用になりますと故障の原因になります。

接点取り付け部の打ち抜きは必ずオモテ側から行ってください。ウラ側から打ち抜くと表面が剥離しやすく、接点の確実な固定ができず故障の原因となります。

予告無しに価格や仕様の変更をすることがあります。

当社取り扱いの正規品以外の並行輸入品等でご購入されたケースへの取り付けはサポートしておりません。

※JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周知郡森町一宮4805

本書の記載内容の一部または全部を無断転載することを禁ず。デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、

0120-60-4955 まで。営業時間 平日 午前9:00~午後6:00

URL 総合 <http://www.daytona.co.jp>

G I V I 専用 <http://www.givi-jp.com>